

	○	△	×	-	
環境整備・体制整備					
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	80%	20%			毎日均等な利用者数でご利用いただいておりますが、利用されるお子様が高学年が多い時には狭く感じてしまうこともあるかと思っております。 事故が発生しないよう見守りには十分意識して支援します。
2 職員の配置数は適切であるか	80%	20%			人員配置基準は満たしています。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		100%			療育室内は2階、プール施設はエレベーター＋階段と大変ご不便をおかけします。環境の安全面の配慮が必要な方には事業所としてできる最大限の対応をさせていただきます。
業務内容					
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%				毎日のミーティングと毎月行っている職員会議にて、自分たちの支援を振り返り、さらに改善できるよう取り組んでいます。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	100%				頂いたご意見を大切に事業所改善に努めています。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%			ホームページにて公開しています。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	40%		20%	相談支援事業所などからフィードバックをいただくなど外部からのご意見も参考にしています。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	100%				年間通して職員には研修に参加してもらっています。
適切な支援の提供					
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				送迎時や別途機会を設けて、ご家族からお子様の情報をお伺いしたり、お子様自身の会話からも情報収集し、計画に反映させるようにしています。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%			スタッフ間で共有の知識と支援ツールを持ち、最適な支援ができるようにしています。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				スタッフ全員で意見交換しあいながら、メインコーチを中心にプログラムを立案しています。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				毎回様々なプログラムで、お子様に飽きなく運動を楽しく取り組んでいただけるように努力しています。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				利用者数や空間、個々の能力に応じて、細部までこだわった設定を行っています。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				個別対応で支援が必要な事、集団の中でご本人が学べることなどを整理して、個別支援計画にてご提示しています。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				毎日支援前と支援後にスタッフ全員で打ち合わせと振り返りを行っています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	100%				
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				記録と共にスタッフ全員で重ねて会議も行き、支援の検証と改善策の検討を行っています。

	○	△	×	ー	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				定期的を実施しています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100%				ガイドラインを基に、活動を設定・実施しています。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				管理者または児発管が出席しています。
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	100%				送迎サービスは行っていないため、電話等にて学校との連携を行っています。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	20%		20%	必要な利用者に関しては主治医との連絡体制の確立、主治医との対面連携も行っています。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%			今までの取り組みや発達過程などをお伺いしていますが、保育園や児童発達卒園後、数年たっただけのご契約のお子様に関しては保護者からの情報伝達となっています。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	20%	60%		20%	当事業所在籍の間のご本人の様子や取り組み項目、またその成果などを資料作成し、進路先に提供しています。
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	20%		20%	助言、研修は実施していますが、頻度が少ない現状です。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			80%	20%	基本的に事業所内での活動体制のため、外部との交流は行えていません。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%		20%	自立支援協議会は参加資格がないため参加していませんが、それ以外の協議会活動にはほぼ全て参加しています。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				送迎時に実際保護者にお会いできるので、その際に最新の情報をいただくようにしています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	20%	80%			事業所としての企画では実施していませんが、個別に対応させていただいています。
保護者への説明責任等					
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				契約時に不明点がない状態でご利用開始していただけるよう、参考資料なども作成して説明しています。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				お困り際には即座に対応させていただいています。また、一緒に考え、保護者が孤立感を持ちながら子育てしないよう寄り添う姿勢を大切にしています。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				毎年9月に保護者会を開催しています。この度は3年ぶりに対面での保護者会を行うことができました。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				苦情はこの度はありませんでしたが、苦情がある場合には担当者を定め、所定の報告書にて事例の整理と解決に向けた取り組みを行います。
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%			現在は紙面ではなくSNSを活用して情報発信していますが、頻度が少なかつたため、今後は発信数を増やしていきます。

	○	△	×	-	
35 個人情報に十分注意しているか	100%				個人情報の管理は全スタッフで徹底しています。
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				ご本人や保護者それぞれが、一番安心して意思疎通できる方法を確認し、個々に合わせて柔軟に対応するよう配慮しています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		20%	60%	20%	地域の方とは日頃から良好な関係をとれる関りを心がけていますが、事業所の活動に参加していただくことはない状況です。
非常時等の対応					
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	100%				各マニュアルを策定し、スタッフには研修にて、保護者には壁面にて掲示して周知しています。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				年間予定をたて、各種避難訓練を実施しています。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	100%				全スタッフ、毎年専門講師による虐待防止研修を受講し、事業所内でも年に2回研修を実施しています。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				身体拘束に関しては十分慎重に取り扱い、該当事例が発生した場合には当日中に保護者に説明、ご本人にも可能であれば説明を行い、個別支援計画も修正作成しています。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				医師の指導の下、事業所内で定期的に対応の練習会を実施しています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				ひやりはっと専用ファイルを作成して事故の発生防止に活用しています。